

## 活動報告（10月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村整備課

表題：【つなぐ棚田遺産】久留女木の棚田で稲刈りを行いました

日時：令和4年10月22日（土）

場所：静岡県浜松市



稲わらを編み込んで「すがい※」を作る参加者

※稲を束ねるための紐



説明を行う「久留女木竜宮小僧の会」

10月22日（土）、「つなぐ棚田遺産」に認定された「久留女木の棚田」（浜松市北区引佐町）で、久留女木竜宮小僧の会が稲刈り体験会を行いました。

当日は、竜宮小僧サポーター、静岡文化芸術大学の学生で構成された「引佐耕作隊」等の約30名が稲刈りに参加し、棚田の保全活動に力を注ぎました。

当組織は、棚田地域を後世に残すことを目的に棚田を守っていく耕作者の育成に力を入れています。

今回の体験会では、他の地域では珍しいすがい作り体験や鎌を使った稲刈り、はざかけを行いました。子供たちも真剣に当組織の説明を聴き、達成感を感じさせる満面の笑みで稲刈りを終わりました。

西部農林事務所では、耕作者の育成に取り組む当組織の活動を今後も支援していきます。